

崩壊遅延防止ソフトカプセル

ソフトカプセルの皮膜が溶けにくくなることを防ぎ
有効成分が体内できちんと届けられるようにする技術です。



特 徴

- ソフトカプセルは、内容物の種類によって、皮膜が時間の経過とともに溶けにくくなる場合があります（崩壊遅延）。崩壊遅延が発生すると、有効成分が体内に吸収されず、効果が十分に発揮できない場合があります。
- 当社のソフトカプセルは、皮膜に『リンゴ酸』を配合することで崩壊遅延を抑制し、有効成分をきちんと届けられるようになります。

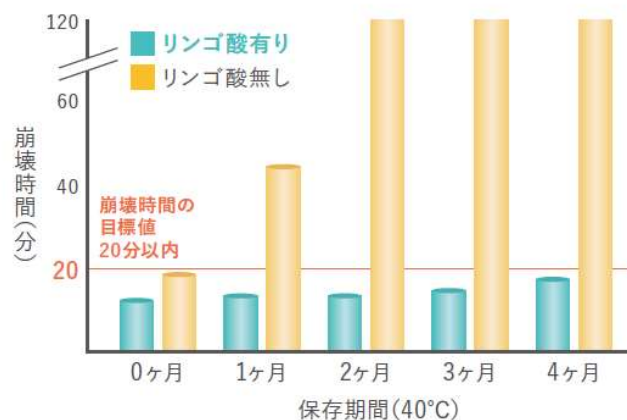
活 用 例

- ビルベリーなどのポリフェノール類
- ビタミンCを含むマルチビタミン
- 黒酢や酵素などの発酵エキス

ソフトカプセルの崩壊試験

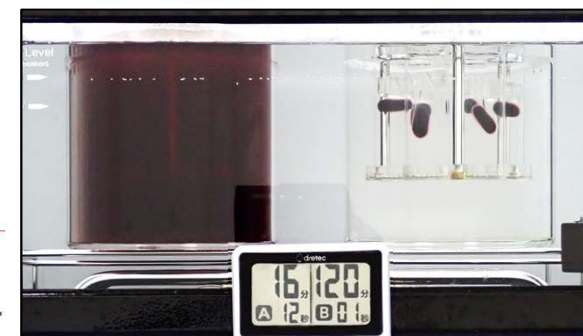
ビルベリー+DHA

- ・試験サンプル：内容物にビルベリーとDHAを含むソフトカプセル／40℃保存品（最大4か月）で、皮膜にリンゴ酸を配合したものとしていないものを比較
- ・試験法：日局18改正崩壊試験法に準拠
- ・目標値：20分以内に崩壊



リンゴ酸有り

リンゴ酸無し



40℃・4か月保存品の崩壊試験の様子。